



中国贸促会专利商标事务所
CCPIT PATENT & TRADEMARK LAW OFFICE

中国知的財産権

ニュースレター



第11号

2023年第11号（全105号）
2023年11月30日

目次

CONTENTS

知財ニュース

中国最高裁判所が2023年第1から第3四半期の主要司法裁判データを発表.....	3
『キーデジタルテクノロジーに係る専利の分類法(2023)』が発行.....	4
中国最高裁判所が『『最高裁判所の知的財産権法廷の若干の問題に関する規定』の改正に関する 決定』を公布	5
中国国務院常務会議で『中華人民共和国専利法実施細則(改正草案)』が採択	7

AI・IoT関連情報

『2023中国センサー企業の高品質発展』白書が発表	8
業界がメタバース医療を探索 「無界」インテリジェント・バーチャル・メタバース診療室を発表.....	9
レノボの「ゼロカーボンスmart製造」工場が完成 PCの年間生産量は300万台	11

中国最高裁判所が2023年第1から第3四半期の主要司法裁判データを発表

 <https://www.court.gov.cn/zixun/xiangqing/415692.html>

先頃、中国最高裁判所が2023年第1から第3四半期の司法裁判データを発表した。全国の裁判所で新規に受理された知的財産権一審案件は1.61%増の37万1000件で、その中で、専利契約紛争、専利権帰属・権利侵害の紛争が前年同期より大幅に増え、増加率はそれぞれ42%と27%であった。新規に受理された技術系の知的財産権民事一審案件は同期比56.7%増の1万7000件で、その中で、コンピューターソフトウェア著作権侵害紛争は同期比260%増の6725件、実用新案権侵害紛争は同期比31.6%増の6438件であった。引用商標の有効性がしばしば行政訴訟を引き起こすことで審理期間を長期化させるという状況に対し、知的財産権裁判は積極的な司法理念を堅持し、関連する訴訟モデルを改革、模索し、中国国家知識産権局との連携、協力を強化している。引用商標の専用使用権が消滅又は変更した場合、国家知識産権局は訴訟に係る裁決を取り消し、かつ引用商標の新しい権利状態に基づいて再度裁決を行う。





『キーデジタルテクノロジーに係る専利の分類法(2023)』が発行

Q http://www.iprchn.com/cipnews/news_content.aspx?newsId=138687

先頃、中国国家知識産権局が『キーデジタルテクノロジーに係る専利の分類法(2023)』を発行した。キーデジタルテクノロジーに係る専利の規模、構造及び品質に関する統計と監視が強化されており、同分類法はキーデジタルテクノロジーに係る専利の発展状況のマクロ的な統計、監視、地方の関係部門や各界による実際の需要に応じた関係産業の専利統計・分析に応用できるものである。

デジタルテクノロジーはデジタル経済発展の中心的な原動力であり、キーデジタルテクノロジー革新は、その健全な発展を促進する基盤である。同分類法は新興のデジタル産業や先端技術分野の人工知能、ハイエンドチップ、量子情報、モノのインターネット(IoT)、ブロックチェーン、インダストリアルインターネット、メタバースなど7種類のキーデジタルテクノロジーに焦点を当て、技術の境界線を明確にし、且つ等級分類法を用いて3等級から5等級の技術分野に分類し、技術分野と国際特許分類の参照関係を構築している。

この分類体系は世界の主要国のデジタルテクノロジー発展戦略、産業政策と技術の種類を総合的に考慮し、デジタルテクノロジーの関連基準・規範を参考にし、キーデジタルテクノロジーの中心的な分野に焦点を当て、専利と結びつけた分類体系を構築し、キーデジタルテクノロジーの知的財産権保護を支え、キー・コアテクノロジーの革新をサポートする。また、関連デジタルテクノロジーに係る専利の統計、監視のニーズを満たし、専利統計の国際比較の基盤を固めるため、この分類体系は、国際特許分類番号とキーデジタルテクノロジーとを対応させた表記形態となっており、関連分野の世界的な専利統計データベースの構築をサポートしている。

中国最高裁判所が「『最高裁判所の知的財産権法廷の若干の問題に関する規定』の改正に関する決定」を公布

 <https://www.court.gov.cn/fabu/xiangqing/416012.html>

「『最高裁判所の知的財産権法廷の若干の問題に関する規定』の改正に関する決定」が2023年10月16日に最高裁判所審判委員会第1901回会議で採択され、2023年11月1日より施行された。具体的な改正内容は以下のとおりである。

一、第二条を下記のように改正する。

知的財産権法廷は下記の上訴案件を審理する。

(一) 専利、植物新品種、集積回路配置図設計の権利付与・確認に係る行政上訴案件

(二) 特許、植物新品種、集積回路配置図設計の権利帰属、権利侵害に係る民事・行政上訴案件

(三) 重大で複雑な実用新案、技術秘密、コンピューターソフトウェアの権利帰属、権利侵害に係る民事・行政上訴案件

(四) 独占に係る民事・行政上訴案件

知的財産権法廷は下記のその他の案件を審理する。

(一) 前項に定める種類の全国規模の重大で複雑な民事・行政一審案件

(二) 前項に定める民事・行政一審案件で法的効力が生じた判決・裁定・和解調書に対し、法に基づいて再審請求、検察側の控訴、再審などの裁判監督プロセスが適用される案件

(三) 前項に定める民事・行政一審案件の管轄権紛争、行為保全裁定に対する不服審査請求、罰金・拘置決定に対する不服審査請求、審理期間の延長請求などの案件

(四) 最高裁判所が知的財産権法廷により審理されるべきと判断したその他の案件

二、第3条を「この規定第二条に定める案件を審理する下級裁判所は、規定に従って知的財産権法廷に紙・電子ファイルを適時に移送しなければならない」に改正する。

三、第四条として「知的財産権法廷は、当事者に対して案件に係る知的財産権の帰属、権利侵害、権利付与・確認などに係る関連案件情報の開示を求めることができる。当事者が真実の開示を拒否する場合、信義誠実の原則を遵守しているかどうか、権利の濫用にあたるかどうか等を判断する要素とすることができる。」ことを追加する。

四、第八条の「知的財産法廷が審理する案件の受理情報、合議体の構成、裁判プロセス、判決文書などは、法に従って公開される。」を第七条に変更する。

五、第十一条を第十条に変更し、その中の「この規定の第二条第一、二、三でいう一審案件」を「この規定の第二条第一項に定める種類の民事・行政一審案件」に改正する。

六、第四条、第五条、第十二条、第十三条、第十四条を削除する。

七、その他の条文も適宜番号を調整する。

中国国務院常務會議で『中華人民共和國專利法實施細則(改正草案)』が採択

 <http://www.stcn.com/article/detail/1025636.html>

11月3日、国務院総理・李強は国務院常務會議を主宰し、『中華人民共和國專利法實施細則(改正草案)』を審議、採択した。

會議では以下のことが強調された。知的財産権保護の強化に関する中国政府の決定を徹底的に実施し、專利法實施細則を厳格に実施し、專利の出願と審査制度をさらに改善し、中国の專利創出、活用、保護、管理、サービスのレベルを向上させ、関連国際条約との連携を強化し、科学技術イノベーションと新しい産業や競争分野の発展を促進する中で專利法の重要な役割を発揮させる。様々な形で專利法の普及教育、宣伝活動を展開し、イノベーションを保護、支援する法的環境の整備に力を入れる。

2023年上半期、中国の特許権付与数は43万3000件、PCT出願の受理数は35477件、このうち国内出願人によるものは32985件であった。6月末現在の特許の累計有効数は456万8000件で、このうち国内によるもの(香港、マカオ、台湾を除く)は368万3000件であった。

10月10日に開催された国務院常務會議では以下のことが強調された。專利の活用を推進し、專利の価値を十分に掘り起こし、專利集約型産業の発展に力を入れることは高品質の発展を推進する上での戦略的任務である。專利の質的向上と政策面でのインセンティブの強化に力を入れ、実際のニーズに基づく科学研究課題の発見と解決をより一層重要視し、專利の活用に資する制度とインセンティブ政策を確立、改善し、專利活用のボトルネックの解消に力を入れ、市場サービスをさらに最適化し、良好な環境を創出して、イノベーション成果の実質的な生産力への転化を加速させる。



『2023中国センサー企業の高品質発展』白書が発表

 <http://henan.people.com.cn/n2/2023/1106/c351638-40630340.html>

11月5日午後、2023世界センサー大会の会場別イベント「国際センサー企業家サミット」において、賽迪顧問（CCIDコンサルティング、中国工業・情報化部傘下の市場調査会社）は、「2023中国センサー企業の高品質発展」白書を発表した。

同白書によると、過去1年間にセンサー産業の発展は、自動車電子分野に占める割合が最も高く、医療電子分野で最も急速に伸びている。賽迪顧問の李珂副総裁は会場で、センサーは半導体産業に属し、1950年代に誕生し、今は第3世代に入り、最初の構造的、固体センサーから現在のスマートセンサーまで、すでにさまざまな業界に浸透しており、現在、中国センサー市場の規模は年々拡大しており、MEMSセンサーは重要な細分化の方向にあると述べた。

大まかな統計によると、狭義のグローバルセンサー産業は、昨年1,800億元規模で、将来的に比較的安定した成長の維持が見込まれており、最大のハイライトはやはりスマートセンサーである。昨年、スマートセンサー全体で世界のセンサー産業の24%を占めた。将来、スマートセンサーの成長率は業界全体の平均成長率の何倍にもなるだろう。予測によると、2025年までに全世界の産業チェーン業界において、スマートセンサーのシェアは1/3に達し、「現在、スマートセンサー業界は活況を呈している時期であり、自動車のスマート化が将来的にセンサー業界全体の最大の推進力になることは間違いなく」、まさにこのような状況の優位性があるからこそ、李珂副総裁は「現在、MEMSセンサーは自動車の自動運転における花形製品であると同時に、スマートシティの建設はスマートセンサーの発展を牽引するもう一つの原動力となり、中国経済を牽引する次の原動力となる可能性が高い」と述べた。

李珂副総裁によると、新エネルギー分野全体に目を向けると、太陽光発電であれ風力エネルギーであれ、生産、製造、組立、運営のいずれにもセンサーの大量需要がある。産業構造の分布を見ると、2022年も自動車電子業界が依然として収益の最大を占め、新エネルギー自動車が市場成長の主要な原動力である。河南省・鄭州市は、新エネルギー自動車の重要な製造拠点であり、例えば鄭州市における比亞迪（BYD）などの自動車メーカーの新エネルギー自動車の生産台数は百万台に達しており、センサー産業発展の巨大な市場機会が潜んでいる。



業界がメタバース医療を探索 「無界」インテリジェント・バーチャル・メタバース診療室を発表

 <http://finance.people.com.cn/n1/2023/1106/c1004-40111473.html>

現在、医療サービスとインターネット、デジタル化技術の融合がますます緊密になっている。次世代のインターネット技術として、メタバース技術は、医療産業において大きなポテンシャルを秘めている。

先ごろ開催された第6回中国国際輸入博覧会(CIIE)で、復旦大学附属中山病院は聯影医療(United-Imaging)、インテル、中国電信、百度、申摯医療(Shanghai Shenzhi Medical Technology Co., Ltd)など多くのテクノロジーエコシステムの企業と共同で、『「無界」インテリジェント・バーチャル・メタバース診療室最前線の洞察』という報告書を発表した。紹介によると、「無界」インテリジェント・バーチャル・メタバース診療室は、メタバース技術に基づき、患者の「予防、診断、治療、回復」の医療プロセスに適用され、診察前、診察中、診察後の完全なライフサイクルのケアを提供できるという。

デジタル技術のサポートにより、医療サービス業界は時間と空間の制約から絶えず解放されている。医師の判断に頼って治療方針を選択していたこれまでと異なり、メタバース医療は医師と患者にVR空間のコミュニケーション環境を提供し、コミュニケーション体験を向上する

ことができる。

紹介によると、「無界」インテリジェント・バーチャル・メタバース診療室は、インテルのコンピュータビジョンとAI技術に基づき、実際の医師の動きをキャプチャし、グラフィックカードのコンピューティングを通じて、人の3D骨格の高精度再構築を実現し、重要なノードをリアルタイムで追跡することで、VR環境下のデジタル医師は、実際の医師の指示をリアルタイムで実行することができる。また、医師はリモートで医療機器のデジタルツイン管理プラットフォームを利用し、遠隔地の患者の検査プロセスを正確に指導し、品質管理することができる。3D VR空間のインタラクティブ・コマンドを通して、メタバース診療室は患者の臓器の3D再構成デジタルツインモデルや病変などの情報を提示することができる。また、プロセッサとグラフィックカードの強力な処理能力により、3D VR空間におけるスムーズで自然なインタラクションが可能となり、患者が自分の状態を理解し、治療計画を選択し、予後や注意事項をより直接に理解するのに貢献する。

メタバース診療室の医療効率と医療経験の向上は、医療メタバース・エコロジーにおける様々な企業の協力と切り離すことはできない。多言語翻訳、医療言語テキスト認識、デジタルツイン電子カルテ、臓器デジタルツイン、デジタルドクターなど…近年、聯影医療や百度などエコシステム内の様々な企業は、R&Dを強化し、より多くの革新的な技術を医療サービスシーンに応用し、強みの相互補完とイノベーション協同を実現して、医療サービス業界の効率化を可能にする見込みである。



レノボの「ゼロカーボンスmart製造」工場が完成 PCの年間生産量は300万台

 <https://www.chinanews.com/cj/2023/11-06/10107262.shtml>

天津港保税区に位置するレノボグループ(聯想集团有限公司)イノベーション産業パーク(天津)が11月6日、全面的に完成した。関係者によると、イノベーション産業パーク(天津)は敷地面積が11万2000平方メートルであり、「グリーン・ゼロカーボン・スマート製造」を中核に位置付け、生産・製造、R&D・実験、デジタル化展示を統合している。投資総額は18億元を超え、京津冀地区の千人以上の雇用を創出し、将来年300万台のコンピュータとスマートデバイスを生産するという。

レノボグループの「ゼロカーボンスmart製造」工場として、イノベーション産業パーク(天津)は、グリーンエネルギー、建物設計、スマート製造、パーク管理、デジタル化協同など九つの分野で90項目の「連続技」とも言える炭素削減措置を、パークの設計計画、建設から運営までの全過程で実施している。3つの製造棟の屋上には、3万平方メートルの分散型ソーラーパネルが敷設されており、年間の発電量は500万kWh以上に達し、パークの炭素排出量を3000トン削減できる。ソーラー椅子やセンサーゴミ箱、風力と太陽光を同時に利用するハイブリッド街路灯などのオフグリッド太陽光発電製品が広く使用されている。

レノボグループ高級副総裁、グローバルサプライチェーン責任者の関偉氏は、「天津イノベーション産業パークはIoT、5G、エッジコンピューティング、デジタルツイン、AIなど複数のスマート・グリーン技術を利用し、1000件近くのリノボ社の特許を融合しており、レノボグループのゼロカーボンスmart製造のレベルを示している。天津イノベーション産業パークは高度に自動化され、全面的にスマート化されており、9秒に1台のスピードでノートPCが生産され、年間生産量は300万台を超え、その生産ラインの自動化率は60%に達している」と紹介した。

責任者によると、産業パークにはスマート工場の他、「ゼロカーボン・ダーク(消灯)・スマート化の立体倉庫」が建設されている。同倉庫には2万8000の貨物スペースがあり、高さは24メートルで、外観はまるで「鋼の森」のようだ。倉庫には様々なスマート技術が組み込まれており、倉庫占有スペースを70%以上、コストを47%削減し、資材の準備とピッキングの効率を10倍も向上させた。スマート倉庫は自動で資材を生産ラインに送り、完成品を回収し、消灯した状況でも正常な運営を可能にしている。



ENRICHING YOUR IDEAS

北京本部

住 所: 〒100031 中国北京市復興門内大街158号
遠洋大廈10階
Tel: +86-10-6641-2345
Fax: +86-10-6641-5678/6641-3211
Email: mail@ccpit-patent.com.cn

東京オフィス

住 所: 〒100-0004 日本東京都千代田区
大手町二丁目2番1号新大手町ビル2階265区
Tel: +81-3-6262-6643
Fax: +81-3-6262-6645
Email: tokyo@ccpit-patent.com.cn

ニューヨークオフィス

住 所: One Penn Plaza Suite 4425 New York,
NY 10119 U.S.A.
Tel: +1-212-868-2066
Fax: +1-212-868-2068
Email: newyork@ccpit-patent.com.cn

マドリードオフィス

住 所: Calle del Principe de vergara 13, 5ºD,
28001, Madrid, Spain
Tel: +34-910-66-3553
Email: madrid@ccpit-patent.com.cn

香港オフィス

住 所: 香港灣仔港灣道一号
会展広場ビル34号09室
Tel: +852-2523-1833
Fax: +852-2523-1338
Email: hongkong@ccpit-patent.com.cn

上海オフィス

住 所: 上海市静安区威海路567号
晶采世紀大廈18階
Tel: +86-21-6288-8686
Fax: +86-21-6288-3622
Email: shanghai@ccpit-patent.com.cn

広州オフィス

住 所: 広東省広州市天河区天河北路233号
中信広場11階1112-1113室
Tel: +86-20-3877-0278
Fax: +86-20-3877-0297
Email: guangzhou@ccpit-patent.com.cn

深圳オフィス

住 所: 深圳市福田区福華三路186号
国際商会センター1601
Tel: +86-755-3298-9252
Email: shenzhen@ccpit-patent.com.cn

武漢オフィス

住 所: 湖北省武漢市洪山区関山大道473号
光谷新發展国際センターB棟5階 06-116
Tel: +86-27-8720-0400
Email: wuhan@ccpit-patent.com.cn